

(2) 台東リバーサイドスポーツセンター

【指定管理者】公益財団法人 台東区芸術文化財団

【所管部課】教育委員会事務局 青少年・スポーツ課

評価委員会による評価

1 評価の観点

「評価の観点」(①～④)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

① 事業の運営について **委員会の評価：B (区の評価：B)**

●委員のコメント

【良い点】

- 施設の利用者数は増加傾向であり、目標を達成している。
- 陸上競技場において夏季の一般開放時間を延長するなど、サービスの向上に努めている。
- 3月11日の東日本大震災では、帰宅困難者等に対して、区と連携して誠実に対応した様子が見えた。
- ホームページを活用して、事業内容や予算・決算などの情報を広く区民や地域に公開している点は評価できる。

【改善すべき点】

- 会議室など、利用率が低いところもあるので、更にPRを強化し、利用率向上に努力すべきである。
- 利用者数をさらに増やすため、現在、実施している3つの自主事業(区民スポーツ教室、区民ドッジボール大会、わんぱくトライアスロン)以外に拡大していくことが必要である。

【その他意見】

- 屋内外の広大な施設を16名の職員で管理しているが、傷害事故防止や事故発生時の対応に、これからも万全を期されるよう要望する。
- 本施設は、施設規模等から救援物資の保管、避難者の受入れなど、災害時の重要な拠点となる。そのため、あらゆる災害を想定して、「危機管理マニュアル」の見直しを行うとともに、区と指定管理者で協議し、万全な危機管理体制を構築していくことが肝要である。
- 多少交通アクセス面で不便を感じるが、素晴らしいロケーションを活かし、台東区のスポーツ振興の拠点として、その機能を十分に発揮していただきたい。

② 施設の維持管理について **委員会の評価：A（区の評価：A）**

●委員のコメント

【良い点】

- 施設内は、清掃が行き届いており、施設設備の日常点検や維持管理も適正に実施されている。
- 施設改修により冷暖房が整備されたことで、以前に比べて快適に過ごすことができるようになった。また省エネや環境に配慮した取組みがなされていることも評価できる。

【改善すべき点】

- 傘立てなどの細かな備品類についても、常に快適に利用できるよう目配りする必要がある。また1階の催し物の掲示や4階ロビーの展示コーナーについても、もう少し内容を工夫してもらいたい。
- 緊急時の連絡網整備や避難訓練が実施されているが、日常的な維持管理業務中での対応プログラムについても作成する必要がある。

【その他意見】

- 施設管理上、例えば駐車場、駐輪場が狭いなど所与の制約があることは分るが、そこで終わってしまわずに、「だからどうするのか」という「次の手」を指定管理者としても考えていく姿勢が重要である。

③ 利用者の満足度について **委員会の評価：B（区の評価：B）**

●委員のコメント

【良い点】

- 陸上競技場の夏季の一般開放時間の延長や、要望が多かったビーチボールバレーの個人開放を実施するなど、サービスの向上に努めている。
- 学校など関係団体との連携が図られているほか、個人利用も推進しており、地域の支持を得ている。
- 相撲場、弓道、エアライフルをはじめ、多様な種目を体験することができる。施設の充実度は高く、区民スポーツの振興に貢献している。

【改善すべき点】

- 相撲、弓道、エアライフルなど、種目によっては施設利用率が極端に低いものがある。利用率向上のため、PRの強化を図る必要がある。
- アンケート調査は、利用者が固定され効果が期待できないため、実施していないものと推測するが、区政モニターの活用や携帯電話・パソコンを使ったアンケートの実施、第三者評価機関による評価なども考えられる。様々な視点から満足度調査の実施を検討し、利用者ニーズを迅速に把握し、きめ細かに事業運営に反映させることで、施設の魅力向上に努めてもらいたい。

- 1階受付が奥まっているため、ものを尋ねにくい雰囲気を感じる。職員の利用者への目配りでフォローするなどにより、改善してもらいたい。

④ 歳入歳出について **委員会の評価：A（区の評価：A）**

●委員のコメント

【良い点】

- 施設の大規模改修によって冷房化されたが、省エネに努め、光熱水費等の管理経費も適正な水準である。経費削減に積極的に取り組み、成果を上げている。

【改善すべき点】

- 東日本大震災により、前年度比10%の収入増とする目標の達成は難しくなっているが、今後、新たな目標を立て、その達成に向け、努力すべきである。
- 利用者が減っている施設については、その原因を追究するとともに、常に魅力あるプログラムを提供するための検討を行い、利用者増加へ向けた工夫をしていくべきである。

【その他意見】

- 例えばユニフォームやグッズの販売など、自主的な収入増への工夫も必要ではないかと考える。
- 収支差額については、自主事業や満足度調査の委託など、区民のサービス拡大に還元していくことも、一つの考え方ではないかと考える。節目節目で予算の執行管理を徹底して、区民にとって有効で効果的な執行を期待する。

2 総合評価

総合評価は、P 6 に示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価：要努力（区の評価：要努力）

●委員のコメント

- 区内の関係団体が、一般開放やスポーツ教室における指導者等を主として担っているところは、とても良い。今後とも、ボランティアの育成・活用も含め、活動団体や地域との連携を図りながら、施設の更なる活性化を期待する。
- 素晴らしいロケーションの施設であり、季節によっては、更なる利用者の増加も見込める。そのため、職員の配置や研修など、人的サービスの強化に努めるとともに、利用者の意見を積極的に取り入れて、安全で満足度の高い管理運営が行われることを期待する。
- これほど広大で、かつ相撲場・弓道場・エアライフル場等の特殊な施設を有する場合は、都内でも貴重である。多くの人々に利用していただけるよ

うにすることは、施設としての重要な任務である。そのためには、施設の所在地、内容、料金、申込方法等の周知について、台東区広報への掲載や区有施設への案内チラシの配布等を行うなど、さらに工夫していく必要がある。

評価委員会から区への意見

- 区民のスポーツ実施率が40%に達していない実情を踏まえ、本施設がスポーツ振興の拠点施設として、その役割を十分に果たせるよう、区としても施設整備や利用者の満足度調査を実施していただきたい。また、区が委託している「初心者スポーツ教室」についても、適宜内容を見直す必要があるのではないかと。
- 施設の運営に際しては、台東区体育協会等の関係団体とも連携を密にし、「ともに歩む」という姿勢で取り組んでもらいたい。また本施設がスポーツに限らず、地域振興においても重要な役割を果たす施設となるよう、地域と連携を図って活用をしていただきたい。
- 駐車場や自転車置場については、イベント等で一度に大勢の利用があると非常に混雑し、一般の通行人や車椅子が通行しにくい状況にあるので、改善が必要である。施設の設置者である区としても検討をお願いしたい。
- 指定管理者からの月次報告や四半期ごとの報告を十分精査し、区民サービスの拡大や充実が図られるような予算執行に努めることが肝要であると考えらる。

※ 「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

区による評価

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 青少年・スポーツ課

施設名称	[47~53] 台東リバーサイドスポーツセンター					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団					
指定期間	H22. 4. 1 ~ H25. 3. 31					
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2) 類似施設の管理実績	朝倉彫塑館、下町風俗資料館、一葉記念館、旧東京音楽学校奏楽堂、書道博物館					
(3) 経営状況	H22年度 収入計 804,726,858円、支出計 768,528,147円 収支差額 36,891,711円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区今戸一丁目1番10号					
(2) 設置目的	区民の生涯スポーツ及びレクリエーションの振興並びに児童、生徒の体位及び体力の向上を図り、もって心身の健全な発達に寄与する。					
(3) 利用者	区内在住・在勤・在学の方					
(4) 開館日・時間	月曜日（第一月曜日は開館）・年末年始を除く毎日9：00～22：00 （陸上競技場・少年野球場は9：00～17：00）					
(5) 規模	延床面積（体育館：11,939.34㎡、陸上競技場：3,073㎡） 敷地面積（陸上競技場：10,560㎡、野球場：14,476.96㎡、庭球場：3,528㎡、水泳場：3,540㎡、少年野球場：3,703.9㎡）					
(6) 人員体制	14名 所長（1）、副所長（1）事務職員（12）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	管理運営、総合体育館個人開放、初心者スポーツ教室					
(2) 自主事業	硬式テニス教室、桜橋わんぱくトライアスロン、区民ドッジボール大会					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	188,595,000	197,414,000	157,186,000	202,835,000	237,567,000
	料金収入等					
	管理経費	188,595,000	197,414,000	157,186,000	202,835,000	237,567,000
決算	委託料	168,439,589	168,632,999	155,389,474	158,399,962	191,438,853
	料金収入等					
	管理経費	168,439,589	168,632,999	155,389,474	158,399,962	191,438,853
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	
開館日数	日	323	323	324	323	
初心者スポーツ教室講座数	講座	11	11	11	11	
硬式テニス教室実施回数	回	480	240	240	468	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度	
利用者数	人	400,000	342,624	327,654	386,775	

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

区民からの要望が多かったビーチボールの個人開放を実施し、利用者のニーズに対応している。

8. 評価項目	3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。
----------------	---	--------------------------------

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [1.9]	(a) 施設の目的達成 [2] (b) サービス水準 [2] (c) 職員配置 [2] (d) 職員研修 [2] (e) 案内・接遇 [2]	[2]	(f) 開館時間等の遵守 [2] (g) 自主事業の成果 [2] (h) 個人情報保護 [2] (i) 緊急時対応マニュアル [1] (j) 警備・防犯体制 [2]	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2] (b) 備品の管理 [2] (c) 清掃・衛生管理 [2] (d) 施設の修繕 [2]	[2]	(e) 危険箇所等の確認 [2] (f) 管理記録の作成・保存 [2] (g) 業務委託の事前承認 [2] (h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [1.8]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [1] (b) 苦情・要望への対応と報告 [2] (c) 利用者数の目標達成 [2]	[1]	(d) 利用しやすい環境整備 [2] (e) 関係団体・地域との関わり [2]	[2]
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 [2] (b) 経費縮減のための取組み [2]	[2]	(c) 収支計画の達成 [2] (d) 利用料等の徴収・管理 [2]	[2]

9. 評価	S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	B	台東区の中核スポーツ施設としての役割をふまえ、適切な運営とサービスの提供に努めているが、震災など多様な状況を想定したマニュアルが備えられていないなど、一部課題があり、対応が求められる。
(2) 施設の維持管理	A	軽微な修繕については協定に即し、管理運営経費での対応を行っており、適正な維持管理を行っている。
(3) 利用者の満足度	B	各種スポーツ団体等との連絡を行い、一定の利用者数を確保しているものの、利用者の満足度調査が行われておらず、改善が求められる。
(4) 歳入歳出	A	体育館大規模改修に伴う冷暖房設備設置後、初めての通年営業であり、光熱水費の増が予想されたが、適切な運用により、管理経費は適正な水準となっている。利用者数の確保により、歳入も適正な水準である。

10. 総合評価	良好 妥当 要努力 要改善 不適
	要努力 施設管理に関しては、適正に行われるとともに、陸上競技場の開館時間延長など、区民サービスの向上にも努めているが、一部課題がある。区民サービス向上のため、課題への対応を図っていく必要がある。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

今後の更なるスポーツ振興のために台東リバーサイドスポーツセンターは、区のスポーツの拠点施設として、関係スポーツ団体や地域との連携・協働のもと充実を図っていく。また、施設利用者の満足度調査を実施し、その結果を施設の改善に向けて活用していく。震災などを想定した指針についても整備を行い、多様な状況に対応できる体制を構築していく。